

1プロスタッフ小黒の面談記録

突然の来所でイライラしながら話しているので、所々、いいたい事と単語があっていません。文脈も時系列と前提条件が飛んだりとわかり易く説明するのに逆に変な言い方になってます。また、小黒さん等声が小さすぎて聞き取れない場合、何を言っているかわからない場合は「・・・」で表記しています。

冒頭部分は個室への移動のため、かなりうるさい所を通っている為に聞き取り辛いです。

00:12

野田頭:う～ん、一日があつという間に過ぎていくという。

購買さん:あ～そうなんですね～。

野田頭:・・・知っている・・・だと、あの～やっぱり全然足りないの。

購買さん:あ～そうなんですか～。

野田頭:・・・。

購買さん:・・・。

購買さん:畑違いとかそういうあれは全くなかったですか。

野田頭:まあ、畑違いといえば違う・・・。

購買さん:違う？

野田頭:まあ、似てはいますけども。

購買さん:うん～

野田頭:やっぱりプロフェッショナルな専門分野になってくると、
どの分野にしても

購買さん:ああ～

野田頭:ある程度のその～なんだろう、こちらだと組み立てをやったりとかって、あの～

購買さん:はいつはいつ。

野田頭:私達何かはそれは～作った製品をちょっと利用する側で～

購買さん:うん～

野田頭:業務を行っていたので。

購買さん:ああ～そうなんですね～

野田頭:その～要は、まあ、あの～部品～細部までちょっと知っているかどうかと言われると、
難しいかな。

購買さん:ああ～

野田頭:なので～毎日、まあ、業務自体は、

購買さん:苦戦している～

野田頭:まあ、苦戦と言うかあの源～指示通り動いて～、

購買さん:ああ～

野田頭:でもう～あの～源川さんのご指導の元～・・・。

購買さん:ああ～そうなんですね。

2プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:ただもう、言われるままに、作業を行っています。

購買さん:それもちょっと辛いですね

野田頭:いや～でも、もう～,業務自体は嫌いって言うよりは新鮮で楽しい感じですね。

購買さん:ああ～。・・・。

2:10

購買さん:その～何でしょ。

野田頭:はい。

購買さん:・・・興味を持てるような内容～。

野田頭:そうですね内容としてはもう、自分が今まで携わって来た～裏側になりますので～、

購買さん:ああ～。・・・

野田頭:で、毎日勉強を～、

2:52

野田頭:ああ～。

小黒:お疲れ様です。

3:00

野田頭:お疲れ様です。

購買さん:・・・。

3:24

購買さん:どうぞどうぞおかけ下さい。今ちょっとエアコン入れますので。

4:00

購買さん:28度で大丈夫ですか。・・・。

4:10

小黒:はいっ、すみません。あっ、ありがとうございます。

4:12

購買さん:あの終わったら、ご連絡くれますか？お迎えに来ますので。

小黒:・・・。

購買さん:ああ～、わかりました。

小黒:お時間頂きまして、ありがとうございます。ちょっと今日お時間頂いたのは。

野田頭:はい。

4:30

3プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:メールの内容で・・・ちょっとメールだと若干分かりにくいというのもあったので、ちょっと今回、面談のお時間を頂きました。

野田頭:はい。

小黒:つで、ちょっと確認をしたいのが、

野田頭:はいっ。

小黒:つでちょっと。弁護士さんをご相談するという事で、ちょっと、どういう内容をご相談しようと思っているのかちょっと聞きたくて。

野田頭:要はまあ、あの～。事前にメールで伺っていたのが、え～と、まあ事務って言うことで～。

小黒:うん

野田頭:ざっくりともう、あの～、伺ってはいましたけれども。実際まあ、あの～、雇用契約書の方を確認をしてみて～、まあ、データ分析とかまあ、え～不良解析か、つて事では見ていましたけれども、

小黒:うん

野田頭:まあ、事務っていうくりでその、言えば、その～私の印象としては、IT技術者、エンジニアにしてもまあ何にしても、

小黒:はい

野田頭:事務になり得ますよねっ。

小黒:うん

野田頭:様な認識でしか無いんですよ。今は。

小黒:うん

野田頭:それを事務って言いますか?っていうのが、まあ、あの～確か～に～まあ、業務、付帯する業務でつて事では、ありましたけれども。

小黒:うん

野田頭:ただ、まあ、あの～別に、仕事が嫌いというわけでも、という事では、今お話ししましたけれども。

小黒:うん、うん

野田頭:元々の説明と～まあ、あの～事務としては範囲が～まあ、記載はちょっとありましたけれども。

小黒:うん

4プロスタッフ小黒の面談記録

5:54

野田頭: え～、やっている～その～業務内容としてはあの～、事前説明とはちょっと違うんじゃないかなとは思ってますね。

小黒: うん。

野田頭: っていうのはいい、メモ書きですけども、まあ、不良の内容としてという事で実際のその～、え～と、こういうのって全ての技術～を知っている上での、成り立っているものになるんで。

小黒: そうですね。・・・。

野田頭: はい、で～実際ちょっと、ITの設計現場～じゃないですけども、そちら～で、やり取りした内容とほぼ、あの～やり取りの～まあ、やり方が酷似しているという。まあ、要は完全に～半導体に携わってて何年も～やってるようなプロフェッショナル～じゃないと～

小黒: うん～

野田頭: 書けないような内容をやっていますって。まあ、あの～QCという、え～なんというんですか、あの～業務上～え～仕方ないとは思いますが、今現在、X線とかそういう、もので～あつまあ色々～、専門的なまあ、え～、ものも扱ったりしてますけどもという。そういうのに関して事務って言います？

小黒: なるほど。ちょっと業務内容に関してですよ～。

野田頭: ただまあ、UMH、UMCHさんが～一番初めに出された～あの～募集のあれがどうだったのかな

小黒: ううん

野田頭: っていうのが、それを確認したかったんですね。あのまんま雇用契約書のあの～、まあ、直前でパンと出されましたけれど。で～、小黒さんいらっしゃって～、え～と、長期的に見てますと、言うことで、で現場ちょっとバタバタしてますけども、ていう事であって、で～教えて頂いている方がとても親切な方で～周辺知識はまあ、全部教えていただいておりますけども。

小黒: うん。

7:56

野田頭: ただ、入り口の所でちょっと、違うんじゃないですかって言う事を、私は言いたいですよ。

小黒: うんうん。承知しました。

野田頭: ただまあ、あの～現場としても、え～通常通り、まあ、長い目を見て、一年とかってやって、出来ないんだったらまあ、あの～ちょっとそれはっていう。話にはなるとは思いますが、

小黒: ですね。

5プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:あの～要は失敗に対しても要は責任を持つ、仕事に対しての責任じゃないですけども、まあ、もちろん現段階で責任が無いとは言いませんよ。完全に。

小黒:うう～ん。

野田頭:何かに携わる上で～、あの～業務に関して仕事が全くないってことはないと思っているので。

小黒:はい。

野田頭:ただ、入り口がかけちがえてるって言うと、ちょっと話が全然変わってくるのかなって。

小黒:(う～ん。)

9:25

野田頭:だあ、まあ、一昨日だかちょっと～あの～教えられている方の前任者の方があの～休まれてて、

小黒:はい

野田頭:で～今日いらっしゃったんですけども、

小黒:あつ、いらっしゃったんですね。

野田頭:やっぱり、まあ、あの～、通常通り～まあ、業務が出来るというか、あの～席を外されたりっていう、

小黒:うん～

野田頭:まあ、ちょっとご病気をおもちみたいなので。うまく引き継ぎも

小黒:うう～ん。

野田頭:出来ていない状態でまあ、あの～色々教えてくださってるんですけども、

小黒:うん

野田頭:で、まあ、その中で、あの～一昨日かな北原さんから言われたのが、まあ、あの、そうですね。また今日、多分、現状変わったと思うんですけども、一昨日に～の時点では、まあ、仕事教えこんで、で～独り立ちをしてもらおう。

小黒:あつ、メールで頂いた。

野田頭:というような。

小黒:・・・で・・・。

6プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: っていう方向で、まあ、あの、ガンガン進めていくっていう。ただ、まあ、あの～プロスタッフさんのその～営業の方の温度差が要は一ヶ月、2ヶ月ぐらいは～って言うような話で。私もまあ、あの～はじめ教わって、まあ、2ヶ月位は～北原さんとちょっと話を近場、近くですので、聞こえますから。まあ、そう言うので～温度差というのがそういうのが、あってんのかな～と思ったんですけども。

小黒: ううん。

野田頭: しばらく～う～ん

小黒: あの～一昨日言われた内容、でいうとちょっとちげえんじゃねえかと。

野田頭: で～必死こいてやってって～ていって、～じゃあまあ、独り立ちじゃないですけども、まあ、業務を行っていく上でまあ、あの～どっかで手は離れると思ってますけれども。ただ～、

小黒: まあ、わかりますよ、早いというか

野田頭: あの～、だあ、内容としてはその～、ある検査の内容ですけども、まあ、不良内容がつつってって言って。で～まああの～、回答書くんですけども～、私達書く所で、再ICTにてU39のNGを検証、なお生産時のICTはPASSである事。で、PK全体及びU39の部品と周辺の外観には異常が見られないことから、弊社出荷時、故障したもの、と推定致します。え～現品は不良内～、え～、内容記載のU39を交換、再ICT、外観チェックで問題の無いことを確認しましたので再納品致します。っていう。言われて何のこっちゃっていう。

小黒: ううん

野田頭: で、私も正直何のこっちゃなんですよ。

小黒: うん

野田頭: 同じ様な。あれで。

小黒: まあ、そうですね。

野田頭: でっ、これを、ずっとやらなければならないんですよ。

小黒: うん

野田頭: こういうのを

小黒: うん、そうですね。

野田頭: で、入って1・2週間で回路図とか自分の使うツールとかも何もわからないのっていう。

小黒: 独り立ちっでって。

野田頭: じゃないですけど。

小黒: うん。

7プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:直接言われてませんけども、っていう。

小黒:わかりました。

野田頭:ただまあ、こういうのを事務と言われて、まあ、確かにこういう記載はありますけども、記載があつてで、生身目でみてます。って言われてますけれども、じゃあ実際現場とあの～、あの～お話伺ったりしてっていうので、進捗伺ってます？っていうので、進捗確認されてますっ？っていうのもありますけども。そこら辺はどういう。もうあの～完全に～私から何かっていう～、形になるんですかね？あの～中間報告じゃないですけども、こういう事やってますって。っていうふうに言わないと～、っていう～形なんですかね。

小黒:うん

野田頭:まあ、仕事に関してはその～要はこういう内容を、事前に何も伺ってなかったんですか？っていう。

小黒:あつ、そうですね～。ちょっとですね～。まあ

野田頭:あの後、その～

小黒:そこまで、細かくとはちょっと～お伺いはしてなかったというのは事実ですね。～はい。

野田頭:だあ、私の認識～でも～その～補助とかで～って

小黒:うん

野田頭:いうのもちょっとありますけども、ただ、まあ、認識の違いはあると思いますけども～。

小黒:うん

野田頭:ここまになってくると、もう完全にプロの技術者の

小黒:うん

野田頭:世界の話なんですよ、当然、窓口の方が～チェックしたりっていうのでしますけども～。っていう。

小黒:そうですね～。わかりました。

野田頭:っていうので、ちょっと、もう、ああ、これはっ、っていう。

小黒:うん

野田頭:何か現場は現場で回ってるし～、っていうのはありますけども～。

小黒:うん

野田頭:バタバタして～。

8プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うん

野田頭:で～、前、あの要は～、あの時面談で言って、所長さんも来て～っていう、どこまで知ってたんですかっていうのは、あの～、私も聞きたいところなんですよ。

小黒:うん

野田頭:業務としてどこまで～知って。

13:48

小黒:知ってた範囲で言えば～事前にちょっと、お伝えした所までです。正直。あの～、別に～ちょっと、ここまで正確的には把握はしてなかったです。はい。

野田頭:ただ、別にその～、仕事に対して～責任を持ちたくないとかではなくて～

小黒:うん

野田頭:これで～、責任問われても～、私としてもどうしようもないですよ

小黒:うん

野田頭:ってことなんですよ。

小黒:うん

野田頭:詰まる所。

小黒:うん、そうですね。仰るとおりです。わかりました。

野田頭:どうせ、派遣だからっていうのもあるでしょうけども。っていう。

小黒:派遣だから？

野田頭:ただ、派遣だからそこまで責任は、っていうような、あの～考え方もいらっしゃるんですけども～、大体～でも～その～QCっていう工程上～っていう意味合い的には、あそこでまあ、重要な位置づけでいますよねって、っていうのは理解は～してるとは思ってるんですよ。

小黒:はい

野田頭:んで工場長直下の部隊って言うことで

小黒:はい

野田頭:私も聞きましたので。

小黒:はい、承知いたしました。

9プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: だあ、その中で、じゃあ、まあ、あの～このレベルの物をすぐぽんと作れるかっていったら、半導体の基本的な技術からそういうものを知っていないと書けないわけで～、

小黒: うん

野田頭: 当然私も読み上げましたけれども、何のこっちゃって話なんですよ。

小黒: うん～

野田頭: 部品に関しても～、NVRAMとかってそういう、パソコンに使われたりそういう～、まあ、メモリとかあたりはするんですけど、出荷時にはまさらなんですけども、一旦出して、出して、電源入れたりっていうと書き込みが行われるので、必ず、試験としては～、え～、NGになるっていう様な項目もあるんですよ。

小黒: うん

15:35

野田頭: その前提条件を知ってないといけない。で、最近回路図を見たりとか、部品を見たりとかっていうので、ある程度知ってればその～検索何かも出来ますけども～っていう。ただこういうもので～、まあ、現場でどういう～あの～やり取りといいますか、え～責任がどういう形で降り掛かって来るのかって言うのは、

小黒: あ～

野田頭: それは恐ろしくてしょうがないですよ。

小黒: う～ん

野田頭: で、しかも契約期間、あの～、まあ中島さんちょっと間違えましたってつって言って、何か一ヶ月とか3ヶ月で間違えました、2ヶ月とかっていう～その～初期の契約の更新にしてもっていう。

小黒: ああ～、はいっ。

野田頭: だあ～そういうジャッジも含めて、っていう。どこでどういう風に判断してるんですかね～って。

小黒: う～ん。初期の契約ですか～。

野田頭: 初期契約にしても、更新の1ヶ月前とかそういうのが、

小黒: う～ん

野田頭: あるはずだと思うんですけども。

小黒: うん～、そうですね。必ず一ヶ月前には、必ず…。承知しました。はい。

10プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: だあ、裏のけ、そういう取り決めどうなってるんですか？っていう。

小黒: 裏の取り決め？

野田頭: 裏というか

小黒: うん

野田頭: 業務的なそういうUMCHさんとの契約はっていう。

小黒: 裏の取り決め

野田頭: 裏じゃないですけども

小黒: うん

野田頭: その、業務的な単価じゃないですけども、

小黒: うん

野田頭: っていう。どこまでっていうのは一応知らなかった。という事で良いんですか？

小黒: え〜とですね。あのお伝えした内容までという…。事前に〜応募頂いた時に、ご紹介させていただいた…。その内容。また、その案件…。

野田頭: それが、全てということですか？

小黒: そうですね。別に隠しているわけでもなく。

17:48

野田頭: わかりました。

小黒: はい。では、では、ですね。まあ、あと他に弁護士先生に相談しようと思っている事はありますか。

野田頭: 得には

小黒: ふん、わかりました。じゃ、今の内容ですね。

野田頭: はい

小黒: はい、で、え〜とですね、まあ、私の個人的な意見としては、あの〜、まあ、辞めるにしても、続けるにしてもまあ、正直止めはしないんですよ、また、止めても無駄っていうのはご存知だと…。

あの〜やめる、続ける辞めるを決めて…でそれに対して仕事を続ける辞めるで続けられそうか確認をしておきたい、

11プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: まあ、つづ、ん～、この～タイミングでどうなのかなってというのが。ありますけどね。

小黒: うん。まあ、あの～昨日ちょっとお電話、着信送ってたと思うんですけども～、

野田頭: ああ～はいはい。

小黒: お電話させて頂いていたのは、実はあの～メール頂いたじゃないですか～、で、まあ、もちろん、UMCHさんにはお伝えはしてないのんですけども～、あの～支店長の方には一応報告はしたんですけども、こういう感じです～。まあ、そしたら～タイミングよく～その～中川様と支店長の方が話してたようでして、

野田頭: あ～、

小黒: まあ、ちょっとどういう状況ですか～。みたいな感じで、・・・って、まあ、その話だと～まあ、大変戦力になっている。っていうようなお話で、頂いてた矢先の話だったのでその事もお伝えして、続けられないのかご判断頂こうかな～っと思って、ちょっと電話～した～形だった・・・。

野田頭: ああ～

小黒: うん

野田頭: 電話。あ～。

19:31

小黒: 来てませんでしたか。

野田頭: いや、

小黒: 覚えてない？

野田頭: ん～、着信見てない。

小黒: ちょっと仕事終わり位かな、17時20分とかに1回入れさせていただいたんですけども。

野田頭: あ～多分もう、現場ずっとこもりっきりで～、

小黒: ああ

野田頭: 残業もちょっとあったので、

小黒: ああ、そう言う事ですか。まあ・・・まあ、ちょっとそういった経緯もあつたりで、現場の方だったりとか、中川さんとかに関してはかなり高評価を頂いている、っていうのはお伺いしています。はい、なのでそのあたりもちょっと踏まえて、ちょっと続けるのか続けられないのかを考えて頂けないかなと。後はまあ、まあちょっと弁護士先生にお話するっていうのもあるので、

野田頭: はい。

小黒: 企業様に簡単にお伝えはしたいんですよ～。

12プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: ああ～。

小黒: まあ、あの～いきなし、急に辞めますとってかかっていうのも、あまり、企業様に良くないですし、後弁護士さんを通すって話も、ある程度お耳には入れておかなければいけないのかなと、ちょっとその件をお伝えしても良いですか？という。

野田頭: まあ、当然そうはなるとは思いますけども、

小黒: うん、・・・問題ないですね・・・ちょっとメールで頂いた内容ですと、

野田頭: まあ、まあ

小黒: 伝えないでくれ。って伝えてないんですけど、できればちょっとその件をお伝えをして、可能なのであれば、その～何ですかね、現場の改善の為に、動いて頂くって言うのは。ぶっちゃけ～、やって頂けるので、まあ、どこまで出来るのか、出来るのかお約束はできないですけども。

野田頭: だあ、改善～

小黒: 他の現場でも実際動いて頂いたって言うのもありますし。何で、そういうふうに通じて頂いて、改善して、続けられるのでは、続けて頂けるのであれば良いですし、その改善したとしても、続けられないのであれば続けられないって言うので。なので、ご相談だけでもさせていただけないのかなって言うのは思ってるんですけども。そこどうですかね。

野田頭: まあ、もう、言うのであれば、

小黒: うん

野田頭: 私は出るしか無いですね。普通に。改善と言うか、これで、もう、なんだろ、不思議に思うのが、

小黒: うん

野田頭: あの～来て～、そういう業務的な打ち合わせって言うのはしないのかな？
って言うのは。凄い気にはなってるんですよ、ず～っと。知らない、知らない、まあ、あの～、お伝えした通りです。ああ、そうなんですか、って言う。

小黒: ああっ

野田頭: 契約書見たら分析って行ってまあ、あの～、そんなに～難しい事とかってのはやらないのかなって。

小黒: うん

野田頭: っていうあの～安易ですけども、まあ、実際その～、あの～プロスタッフさんでえ～、あの中
中で働いている方もいらっしゃるの～

13プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うん

22:26

野田頭:まあ、あの～、そういう・・・でも長けているかたがいらっしゃるので、事務とかそういうのに長けている方が～、作業されているのかな～って認識だったんですけども。

小黒:うん、・・・初めてだったという事もありまして～。・・・。

野田頭:蓋を開けてみたら、

小黒:うん

野田頭:私がもう設計～、もうITの現場バチバチ、あの～違いますよね。とかっていう指摘をするようなそういう、あの～内容を書かなければいけないという

小黒:うん

23:26

野田頭:中で、踏襲すればいいよって、って言うのですんなりいっていれば、あの～何も、言うことはなかったんですよ。普通に。

小黒:うん

野田頭:まあ、UMCHさんの側の事情ですけども、っていう。・・・で且つ一番シニアというか、現在教えてる、まあ親切に教えて頂いてますけども、だあ窓口で出す方ともう、毎日バチバチやってたら、まあ、今日はちょっと仲良く話してましたけど。

小黒:うん

野田頭:結局その後任の方の前も話しましたが、ツケというか

小黒:うん

野田頭:勝手に送っちゃってじゃないですけども

小黒:うん

野田頭:で～・・・要は処理しなきゃいけない案件が、お客様の商品をあの～メインで扱って、っていうので、そういうゴタゴタの中で、で～じゃあまあ、私は早々に独り立ち～って言われてもまあ、責任持てないし、それで～、毎日やんや、やんや言われつつっていうと、どうなんでしょうねえ～。

小黒:うん

野田頭:という。ところでしか、

小黒:うん

14プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:正直ないんですよ。で～今日いきなり～、まあ、面談っていう形で来られましたけれども、まあ、来てしまわれたんだったら。うん、っていう所ではありますよね。

小黒:・・・。

野田頭:いや、もう出るしか無いかなあ～って。っていうようなのはありますけどね。

小黒:出るっていうのは辞める。

野田頭:やめるといふ。

小黒:おうおう、それは～何ですか。

野田頭:だってでも～初めてで、どうしようもないって言ったら、どういう風に交渉するんですか？
要はこういう業務やってます～

小黒:うん

野田頭:でも～あの～、プロスタッフさん、実は初めてです～、で～どういうふうに関渉されるんですか？

小黒:プロスタッフの人は初めてです？ああ～そういう

野田頭:QA

小黒:うん、まあ、あの～ですね～、あの～、まあ、進めるスピードであつたりとか～、
25:05

野田頭:はい

小黒:進める～スピードであつたりとか～、教育の～速さであつたりとか～正直言うと今、早い～っていうイメージですかね？

野田頭:まあ、かなり～あの～、一番はじめにみなさん仰られた、2ヶ月って言うのを、のに比べれば、

小黒:全然、早いですか？

野田頭:早いと思いますけど？その～皆さんの基準で申し上げるのであれば全然早いんじゃないんですか？っていうのはありますけども。だからどういうスパンであの～考えてるんですか？

小黒:うん

野田頭:っていうのはありますけども。

25:34

小黒:そこの所を調整していただけたりとか～、要するにまあ、その～独り立ちをしろと言われてる～。とは～思うんですけども。

15プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:だからその～要は教えて頂いている方も～っていう、

小黒:うん。

野田頭:まあ、当然仕事を持ってますし～、あの～要は～、あくまでその～やっぱり～、チームを回す上での、あの～、言われて上長から動いているだけ～っていうのもある。

小黒:うん。

野田頭:その方が悪い

小黒:まあ

野田頭:っていうあれでは無くというのを補足させていただきます。

小黒:・・・まあ、もちろんです。まあ、もちろん上長の方がいらっしゃって～で、なので～、その～上長の方をお願いして、まあ、その～、何ですかね。教育のスパンじゃないですけども、教育の速さとか～、そちらを調整頂くことは可能ですけども。

野田頭:調整をですか？

小黒:はいっ。

野田頭:頼むんですか？

小黒:はいっ。

野田頭:どうやってですか？

小黒:どうやって？もうそのままお伝えするしか無いですね。

野田頭:ダイレクトに？

小黒:はいっ。で～その～まあ～中川部長さん、

野田頭:はい

小黒:まあ、ほんとに統括されてる～方も同席されてましたね。・・・時にまあ、その方に直接お伝えしてもいいですし。まあ、その方から、どんどん下におろして頂く形で、をお願いするのも可能ですし。逆に言うと出来るとしたら、そのあたりかなってところが正直なところです。その教育期間とつか教育、習熟具合によってちょっと～コントロールして頂く。今、正直言うと～、飛ばしすぎて～追いついてないです。で一人で作るのが・・・

野田頭:まあ、追いついているのか追いついて無いのかわからないですけどね。

小黒:・・・まあ一人で作る場合の、何かあった場合の責任は負いきれないですし～。

16プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:なのであの～、一人で全部抱えてるんじゃないくて、あの～今教えていただいているシニアの方にも仰ってますからね、普通に～、あの～、何かあっても、私はやりませんし、できませんよって？

小黒:うん、うん

野田頭:でまあ、一応、プライベートな話もしてますけれども、だあ、この段階で、今は言われたままやってますけどもっていう。あの～はん、どこか、離れられたり、帰られたり、いない場合は作業は私はしませんっていうのも。それも何回も言っています。こうやって。

小黒:それってもしかして、その会話とかやり取りがそこで止まっているっていう事・・・上が知らなかったりとか、

野田頭:ん～

小黒:そういう可能性もあるじゃないですか。

野田頭:まあ、それはそうですね。ただ、まあ。

小黒:なので、ちょっと、そういう意味でも周知して頂く・・・だからその～見てる限り出来てしまっているの、あ、じゃあもう任せていいなあ～っていう風になっていく可能性はありますし。

野田頭:どう～

小黒:ただ～その、野田頭さんの意見として今そういう意見を頂いている。なので、で野田頭さん・・・言うのをお伝えをしてもうちょっと調整をしていただけないですか？っていうお願いはできるんです。

野田頭:まあ、調整～調整というか、もうその～、本人にダイレクトに言うのは言ってますけども、

小黒:なのでそれでも、まあ、変わらず～で～。一昨日に関しては一人で～でもう、やってって投げ出されたわけじゃないですか。

野田頭:まあ、投げ出すっていうかそういう話が、あの～

小黒:上がって来ている～。

野田頭:まあちょっと、上がっちゃってたんで～っていう。

小黒:まあ、だあ

野田頭:だあ、それで要は～、あの～北原さん～部内としては～じゃないですけども～あの～・・・独り立ちじゃないけどもって言うような。

小黒:うん

野田頭:ただ、まあ、今日話してみて、また変わってるけど、どうなんだろうね？

17プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うん

野田頭:っていう所ではありますけれども。

小黒:うん

野田頭:毎日それで~その~、

小黒:うん

野田頭:一番やり取りしてる~方とちょっと話をしてっていう、

小黒:うん

野田頭:から~、あの~、変わらなければ、まあ、無理かな~と思ってるんですよ

小黒:うん。

野田頭:普通に要は~あの~、よっぽど待遇が酷くて~っていうような~、あの~事で、まあ、暴力であったり~とかっていうなら、論外ですけど。で~派遣元がいうなら~まあ、理解は出来るんですけどもっていう。ただ、現状で~、その~派遣元の会社さんが~、イマイチ話してて、で~、それでまあ、あの~、やめようかなって思ってる時に、まあ、改善って言って、あの~言うのはまあ、あの~勝手っていうのは変ですけども、まあ、一応管理~、...所属してる側でもありますけども~、あの~働きづらくなる事、この上ないと思ってるんですよ..正直。

小黒:ああ~成る程。働きづらくなる..。ああ~

野田頭:だって業務内容も、知りませんでした~って言って。まあ、毎日、とりあえず様子伺いながら~もう、コミュニケーションじゃないですけども、

小黒:うん

野田頭:話をして、っていうのはやってますけども、

小黒:うん

野田頭:...外部で言って~、じゃあ、まあ、お前に仕事ふる~、あの~ふる仕事ねえよ~、みたいな感じ~って言ったら居づらい事この上ないと思ってますけどね。

小黒:ああ~、成る程~

野田頭:だって~、現場で作業やってればすむっていう話ではなくて。あ~でもない、こ~でもないってその~自分からコミュニケーションとってって~

小黒:うん

野田頭:やらなければ、こんなのなんて、書けないんですよ~

18プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うん

野田頭:普通に。設計書の～ものなんて、自分一人で～って言ったら、やるのは良いですけど、勝手にやった場合って、全責任一人で負わなきゃ行けないんですよ。こういうのって。

小黒:はい、そうですね。

野田頭:でっしかも、会社代表して～この製品はっ、って言って一つの製品に対しての

小黒:うん

野田頭:ものになるので、あの～、かかってくる責任って、あの～凄い莫大なものになるんですよ。

小黒:うん。あの～要は～

野田頭:わかっていますか？

31:35

小黒:わかりますよ。

野田頭:うん

小黒:言ってる意味をわかるんですけども。それを企業様に～その追いついていない～ってお伝えをするのが駄目って事ですかね？そうすると、居づらくなってしまう。

野田頭:だあ、その～だって～

小黒:わからないまま。ずっと続けてたりとか～

野田頭:はい

小黒:その～、もやもやした感じでずっと続ける～のってやっぱり無理じゃないですか。・・・やめな～きやいけなくなっちゃうじゃないですか～。

野田頭:だあ、要はもう、わからい事はわからないで～す。

小黒:うん

野田頭:って言う風に～、私は～

小黒:うん

野田頭:の～スタイルはオープンというか知ったかぶりは基本しないので～

小黒:うん～

19プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: わからないことはわからないです。

小黒: まあ、それは良いと思います。

野田頭: あの～、それ～で～まあ、あの～新しい方法聞けるんだったら、

小黒: うん

野田頭: っていうのはあるので

小黒: うん

野田頭: だあ、それで駄目だったら～

小黒: うん

野田頭: だって～何を話をするのかな？ってというのがちょっと～

小黒: ああ～

野田頭: 凄い疑問に思ってるんですよ。これだけオープンに話して～やり取りもして～、で～、私はこう思ってます、っで、出来るところまではやります。っでほかは助けてくださいっ。って言ってるんですよ。

小黒: うん

野田頭: ダイレクトに、もうこんな感じで。それでいて、変わらないっていうものに対して、

小黒: うん

野田頭: 何をどう言うふうに交渉するんですか？って言うふうには思ってるんですよ。

小黒: ああ～

野田頭: 外から、あの～知らないけども、ああっ、あいつはこういうふうには思ってたのかっ！ってドカーンってもう～、要は～まあ、石じゃない、小石を投げるじゃないですけども、水面に石を投げるようなあれになるじゃないですか、

小黒: う～ん

野田頭: 外が言うって言うのと

小黒: うん

野田頭: 内で毎日接してる人間が言うのと、

小黒: うん

20プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:意味合いがだいぶ変わるじゃないですか。

小黒:ああ～

野田頭:そういう事、考慮にいれ..

小黒:ただっ、こういうふうに見解をお伺いしてるので～

野田頭:はい

小黒:それを、私の方からお伝えするっていうのは駄目なんですか？

野田頭:あの～駄目って言うか～、それを困るって言うのは～

小黒:うん。

野田頭:こうやって話をしました～、っで、え～、業務内容は～伺っていた限りです、って言われて～

小黒:うん

野田頭:じゃあ、まあ、その瞬間にもう終わります～よね？っていう話ですよ。

小黒:う～ん

33:44

野田頭:把握してませんでしたって言う～。ああ～そうですか～。っていう。ああ知らないんだ～

小黒:ああ～。

野田頭:でっ～知らない～。まっ、あの～言ったとして言うじゃないですか、多分、もう、言い方悪いですけど、飛びますよ。普通に。あの、伝わってるってわかったら。

小黒:ああ～

野田頭:だって仕事何も知らないのに、あいつが文句言ってるって言うんですけど～。つって。

小黒:まあ、文句を言ってるわけではない。

野田頭:文句って言うか～クレームに近い形にはなっちゃいますよね。今、この状況でいくと。要は

小黒:大体

野田頭:中の状況はわからないですけど、

21プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うん、何ですかね。もちろん見学をした上で決めてますし～、その～何ですかね、ある程度わからない中でやってるっていうのも承知の上ではあるんですよ。

野田頭:全部承知の上ですけども～。っていう。

34:33

小黒:うん、で～その～、その～わからないながらも頑張ってくれている。っていうのは話してみたいなんですね。その～中川さんとうちの支店長の話・・・。

野田頭:だってもう、やるしかないですからね。入った・・・。

34:49

小黒:まあ、そこで

野田頭:QCっていう、工程表でっていう

小黒:まあ、そのまま続けられるのか、続けられないのかの話になっていて、で、今回こういう、弁護士さんとかを通すって言う話じゃないですか。その際に、事前に何か連絡をしてないのも、企業様には悪いんですよ。

野田頭:まあ、それはプロスタッフ側さんの、会社～としてのまあ、体裁もありますよね。そういう意味合いですもんね。

小黒:うん～まあ。体裁もあるんですけども～。

野田頭:まあ、そうですね、あの～一般～一般の～あれで言えばっていう。っていうので。承、重々承知はしてますけども。

小黒:UMCHさんの方も何だったら先に言ってくれば良いのにならと思うんですよ。ご相談一つでもしてくれれば良いのになら。なので～、・・・その～辞める辞めない～、っで言うのであれば、今の気持ち的にどうい感じですか？続けれそうですか、続けれなさそうですか？正直言うと更新のお話は来てます。

今日かな、昨日か今日、来てました。まあ、9月末まで。多分～他の～派遣の方と合わせる形になったと思うので・・・頂いているかと思います。

36:07

小黒:でっ、このまま続けられるのか、続けられないのか、そういうのがちょっと大事にはなってくると思うんですよ。そうですね。まあ、その～もやもやしていた中で、続けるのも良いですし、もうこのまま続けられないっていうのであれば、続けられないで良いと思うんですけど。そのあたりは重要になってくるかな～と私としては。

野田頭:まあ、継続するかどうかって事ですよ。

小黒:うん

野田頭:まあ正直、今即答って言われると～

小黒:うん。

22プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:考えますね。普通に。

小黒:うん

野田頭:どうかな～という。

小黒:なるほど、じゃその続ける、続けようと思うためにはどうなったら続けようと思います？

野田頭:う～～～ん。まあ、

小黒:それをお伝えできればいいかなと。

野田頭:明確じゃないですけど～。まあ、確かにその～、温度差とかまあ、そこら辺が、要は基準として～スキルとして満たしてるのかどうか～っていうのが、もう解らないし、進捗が早まったり～、

小黒:うん

野田頭:あの～遅くなったりじゃないですけども～。結局、派遣だから～役に立たなければ切られるわけで～。

小黒:ああ～なるほど。それに関しては～やっぱりちょっと評価していただいているので、良いと思うんですよ。だっていらなかったら派遣継続の話が無いわけで。で正直、試用期間～企業様設けてらっしゃるので、製造とか最初1ヶ月とか、・・・ですけども、そこで見極めて～って継続の話になってくるので。継続のお話が出ているプラス中川さんが・・・とあるので。戦力として見て頂いて大変高評価って事は間違いないです。そこは、ご理解いただけますかね。

野田頭:まあ、今の話でわかりました。

小黒:うん、まあそこはちょっと前提においとして下さい。はい、でっ、あっごめんなさい。

野田頭:あっ、良いですよ別に。

38:16

小黒:でっ、どうやったら続けられそうだなあ～って。っていう部分なんですけども、まあ、ちょっと引っかかっている部分であるとすれば、先程仰った、ちょっと、戦力～になっているのかな～という部分ですよ。

野田頭:というのもありますし。

小黒:・・・クリアして・・・。

野田頭:どこに～いう、まだ、まあ、入った、1・2週間ですけど～

小黒:そうですね、1,2週間～

野田頭:要はその～どのレベルまで～

23プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うん

野田頭:あの～求められているかって言うのを、プロスタッフ側～さんが～え～把握してます？っていう。

小黒:あ～なるほど。

38:47

野田頭:最終的に要はロングスパンでえ～お願いしようと思ってます～、

小黒:うん

野田頭:じゃあ、行き着くとどこなんですか？っていうって、手当たり次第に勉強やってますけども・・・、死物狂いなんですよ。

小黒:うん。

野田頭:正直。

39:03

小黒:それに関しても～あの～見学の時に少し言ったと、川嶋あたりが言ったと思うんですけども～。将来的には正社員の話も視野には入っている。あっ、多分その時～

野田頭:まあ、・・・。

小黒:副業されてる～とか何とかで、多分、そんなに求めてない、みたいな感じだったと思うんですけども。

野田頭:求めるというか、そうですね。

小黒:まあ、ちょっとそう・・・何か、うん、まあ、なのでほんとにそういう風に、そういうレベルの将来的に見てる。っていうので見えます。

野田頭:だあ、短期間で要は～あの～結構区切る、っていうのが、あの～見えたので～、要は2ヶ月、3ヶ月、3ヶ月

小黒:ですね～。事務系の場合、大体3ヶ月になってますかね。

野田頭:だあ、それで要はあの～、毎回、一ヶ月前とかにジャッジ下りますジャッジ下りますつつって言って、それを待たなきゃいけないっていうのも、正直メンタル的にすごい嫌なんですよ。まあ。あの～

小黒:ただ、それは～派遣は～つきもの～な気がするんですけども。

野田頭:まあ、そうですね～、ここはちょっと短いんだなあ～と思ったんですよ。

小黒:ああ～。

24プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: まあ、会社によるんだなあ～と思いますけど。

小黒: まあ、そうですね。どうしても、ちょっと有期契約のものにはなるので～。

野田頭: で～要は、何が言いたいかという～

小黒: うん

40:19

野田頭: 業務知らないって仰ってたじゃないですか

小黒: うん。

野田頭: っで、この今やってるプロフェッショナルな業務で、どこまでどうって言うのは、あの～誰も保証も出来ないけども、っという。ゴールが見えづらいんですよ、凄い。

小黒: うん

野田頭: 一般的な事務だったら、何をこなしてっというようなそういう、まあ、あの～ルーティンもありますけども、

小黒: うん

野田頭: 来たものに対して、まあ、対応をすると、っという。

小黒: うん。

野田頭: でっ、対応するにしても、簡単とは言いませんけども、そんなに専門の域をまあ、でるものは少ないと思っているんですよ。

小黒: うん。

野田頭: ここまで専門的っとなってくるとどうなんだろうね。ていう疑問符が沢山浮かぶんですよ。業務の難しさから。

小黒: 疑問符？

野田頭: 難しさからっという。

小黒: うん。難しさから来るっという疑問符。

野田頭: 要は、どのレベルまであの～まあ、今言った教育期間じゃないですけども

小黒: うん

41:15

野田頭: どこまで習得してれば良いんですかね～。っという。

25プロスタッフ小黒の面談記録

小黒: ああ～、どこまで習得すれば良いのかが分かれば、続けれますか？

野田頭: まあ、それで習得してなかったら、普通にあの～首になるかなと思ってますけど、

小黒: うん

野田頭: という風にシビアには見てますけども、技術者～

小黒: 引っかかってる部分であるのが～そこってことですか。

野田頭: まあ、大体そういう事ですよ～。

小黒: どこまで習熟すればいいかが分かれば続けられる～。

野田頭: でもまあ、それを言ったらまあ、きりが無いっていう話には、なると思いますけどね。

小黒: キリがない。独り立ち出来るようになったら～はきりじゃないんですかね。

野田頭: まあ、そー、きり、それがきりという、まあそういう見るもありますね。

小黒: まあ、そこは聞いてみないとわからない気がします。UMCHさんがどう考えているかわからないので。じゃそこを確認できれば何か、わだかまりというかもやもやしてるというか、解消できます？って続けれますか？

野田頭: どうやって確認取るんですか？

小黒: う～ん。聞くしか無いですよ～。

野田頭: その～技術的な習得って物凄い大変ですよ？

小黒: まあ、うん～まあ、聞いている限りでは。

野田頭: (あははははははは) 乾いた笑い。

小黒: わかるんですけども、

野田頭: あの～プログラマーとかまあ、

小黒: そこを年単位で、続けるか続けられないか

野田頭: やったりとかありますけれど年単位～

小黒: そこを～そこを踏まえて、年単位で続けられるかどうかだと思いますよ。

野田頭: だあ、今即答はできないって。

26プロスタッフ小黒の面談記録

小黒: 即答はしなくても良いと思うんですよ。ただ～、だからどういう所に引っかかっているのかなってというのが知りたかった。でっ、引っかかりの部分をやっとでも取り除けるのであれば～、相談すべきだなって思って、話してるんですよ。

野田頭: まあ、わかりますよ。行動起こすのは、ただでも、確認してみたら知らないっていう、ものが第一声で出てきちゃったので～

小黒: うん～、まあ知らないというか細部までお伺いしていなかったの。ただその見学の時には説明はあったじゃないですか。

野田頭: それで全部読み取れます？普通に。

小黒: その、全部を読み取るって言うのを無理かもしれないですけども、ある程度～

野田頭: 今の仰り方だと全部わかれよって言ってるのと同じ～意味合い～に聞こえますけど。

小黒: 業務内容とかだったりより詳しくわかるじゃないですか？来てっ、現場で見て～、っで話も聞いて～。って形で。どうしても私共も～、あの～又聞きとかになってしまっって～、口頭での確認であったりとかになっちゃうので、多少、漏れてしまう部分も申し訳ないけれど、あったりはするんで～。

野田頭: だあ、まだ、こっちも全部把握してるとは言わないですよ。流石につ！ただっ、小黒さん～ここに入りづらいつって言って～、じゃあ、まあ、今その～え～と～、業務～その内容の確認を～あの～、させて頂いて、え～事前にお伝えしてる分しかあの～私達も知りません。

小黒: うん

野田頭: だあ、それに対してだつて知らないつって言って、言われて～、で今～あの～詳しい中身を色々やっている中で～技術者経験されてますか？失礼ですけど。

小黒: いや、してないです。

野田頭: 技術何か～その、あの～営業だったらAIDMAとかありますけども、

小黒: AIDMAやった事ないんですよ。

野田頭: 習得し、色々ありますけど

小黒: うん

野田頭: 習得された事ありますか？

小黒: いや、無いんですけども。

野田頭: だあ、その確認はあの～かなり難しいというか、ほぼ、まあ、ある程度でやって～

小黒: うん

27プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: え～、エンジニアであればポートフォリオとかを見て～、あ～ここまで出来るんだったら、これぐらいは知ってるよね～って、目安ありますけど～、

小黒: うん

野田頭: 口頭で言った言わないじゃないですけど、困難ですよ？普通に～。

小黒: うん

野田頭: だあ、要は、今までやった事にたいして基準が何もないじゃないですか小黒さん。それでどうやって確認取るんですか？

小黒: それたいして・・・どうやって・・・。

野田頭: 要はそういう技術を～、

小黒: うん

野田頭: 技術関係で～何か携わられた事はないじゃないですか、失礼ですけど。

小黒: うん

45:37

野田頭: あの～上から目線で申し訳ないけど、

小黒: あ～いや、全然いいです。

野田頭: だあ、それに対して～、その～私は～そういうものに関わってきて～、これぐらい出来ればこういうレベルだよ～ってというような基準がまあ、少しはあるので、

小黒: うん

野田頭: まあ、そういうふうに今ちょっと申し上げてるんですけども～。ていう、だあ、モヤモヤを解消はわかるんですけども～。ていう。基準が無くて確認がどうやって取れるんですかっていう話ですよ。

小黒: あ～

野田頭: だってどのレベルで話してるかっていうのが

小黒: う～ん

野田頭: まず～ありますし、そこに対して的確な基準があつて～、ここで困ってます～、ここで困ってます～、ここで困ってます～、いや、ちょっとここです～、っていうその基準があ～わからないのに～、モヤモヤを解消って言われて、外からバーンって小石投げましたー、って言って、いやあ～私は全然下の所で言ってたんですけど～、上の方でバーンと何か来ちゃいましたね～。っていつてー。

28プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うん

野田頭:話のレベルじゃないですけども、

小黒:うん～

野田頭:技術のレベル分かんなかったり～、内容わかんなければ、

小黒:うん

野田頭:どういう話を持っていくんですかっ?っていう。

小黒:ああ～

野田頭:だって今、業務知らないって仰られたじゃないですか

小黒:うん

野田頭:だからこうやって水掛け論じゃないですけども～。という一般的な営業さんのやり取りとっ、その～技術関連に関して業務知らないって中で～何をどういうふうの確認を取られるんですか?

47:09

小黒:まあ、その～

野田頭:会話の内容のレベルにしても～

小黒:・・・

野田頭:その～、外からあの～単純に働きかければいって言うレベルの話ではないですよ?

小黒:どういうところが・・・なんですか?

野田頭:う～～～ん。う～～ん無理ですね。

小黒:ああ～

野田頭:普通に説明しろって言われても～、説明して、

小黒:はあ

野田頭:理解できるのであれば、あの～私らっていうかその～今まで経験した、技術者いませんです。

小黒:うん。まあ、わかりました。・・・わかりました。

29プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭:・・・こういう議論を毎日繰り返して、あっ、こういうレベルの事を言ってるんですねってその、物怖じとかそういうのもありますけども、いや、私はこういうふうに思ってますけども、どうですか？っていう相対を何十回、何百回、何千回繰り返して、

小黒:うん

野田頭:やって一、で～あの～、こういう設計書じゃないですけども、設計書っていうかまあ、調査票ですけども。作ったりはするんですけども。

小黒:ふん

野田頭:これってその～要はまあ、別に～こういうデスクがあって、使う側にとってはこれが素材が何で作られてようが、軽かろうが、重かろうが、どうでも良いことじゃないですか、使えれば、まあ、確かにあの～

小黒:んん

野田頭:こういう会議室に置くにあたっては、ひろ～いまあ、こういう長方形の長い机があればいいとか、っていうあれになりますけども～。

小黒:うん

野田頭:で～何人か座れて、え～会議ができればいい。ってなりますけども。

小黒:うん

野田頭:そこに使われてる技術がどれだけのものが積み上げられているか、っていうのを話をしたりしないといけないわけで～。

小黒:ううん

野田頭:だあ、仕事も知らないし～、そういう技術的な事も知らないし～って、どういうふうについていかアプローチされると・・・だから困るって言ったんです。

小黒:ああ～

野田頭:メッセージで、あの時話した～、で～今～、今～もう内容～

49:05

小黒:・・・出来る内容としては

野田頭:わかりますけどっ、はいっ

小黒:その～何ですかね。働きやすくなるように、働きかけるくらいしか、正直できないです。

野田頭:だからその～

小黒:業務内容～

30プロスタッフ小黒の面談記録

野田頭: 限界を～

小黒: …我々～言えないので～、

野田頭: 限界を知ってるから、

小黒: うん。

野田頭: だから、何もしないで下さいって言ったんですよ。

小黒: うん

野田頭: そこ、ご理解いただけてます？

小黒: いや、ある程度は理解してますよ、そりゃ

野田頭: ふふふふふふ(乾いた笑い)

小黒: だっなので～、

49:33

野田頭: だから、そういうやり取りを毎日やって～、かつもうオープンにして～、やりませんよって、言ってるのに～、変わらないんだったらもう、あの～まあ、やめるしかないよねっていう話でいて、で今は即答はできません。

小黒: できないって、う～ん。わかりました。

野田頭: じゃあ、まあこれ～、じゃあ、まあ、プロスタッフ～フさん側はどこまで知ってたの？っていう話を今～、ちょっと確認させて頂いて～

小黒: うん～

野田頭: 知らないよねって言って、じゃあ、まあ、取れる方法ありますか？っていったらもう、ああ～成る程ねっ。

小黒: うん

野田頭: うん、合点が言っちゃった。

50:10

小黒: わかりました～。すみません…時間…。

野田頭: 15時半ですね半過ぎですね。

小黒: …。

野田頭: だからアクションを起こさないで下さいっ。っていうとりあえず返答～を

31プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:う～ん

野田頭:しますけど～

小黒:じゃあ、ま～。ま～だ～お伝えはしない方がいい～。

野田頭:だあ、話すんだったらもう、私はでます。普通に。

小黒:う～ん

野田頭:だってこうやって話してきて、もうこれで、確認が私の中で出来てしまったので、

小黒:う～ん

野田頭:ああ、知らなかった、ふ～ん

小黒:・・・で～は～

野田頭:アプローチにしても何にしても

小黒:では～まだちょっと企業さんにお伝えせずで～すすめていく～・・・

野田頭:別にあの～UMHさんに～怒ってるわけでも何でもないんですけど～、っていう

小黒:うん

野田頭:ただ、事前説明とだいぶ違うよねって、

小黒:うん～

51:14

野田頭:やってみたら。だあ、知らなかった、ああ、そうなんですね。で～働きかけます。辞めて下さい。だから。技術的につて、だから、そういうレベル

小黒:まあ～～～・・・。

野田頭:だあ、話をして～、っていうのもありますけど～百聞は一見にしかずじゃないですけども、それを経験されてないですよ。申し訳ないですけども。だあ、単純にあの～料理の千切りにしてもパッとできますか？っていう包丁さばきでも何でも。そういう話ですよ。・・・。

小黒:うん～、まあ、じゃあ

野田頭:その～、

小黒:特に何もせずで、まあ

野田頭:していただかなくてホントに結構です。

32プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:わかりました。あつ、じゃあちょっとその～、更新の話だけ来てるって言うのはお耳に入れていて下さい。

野田頭:わかりました。

小黒:あと・・・頂いてるって感じですかね。ちょっとそのあたりは昨日ちょっとお伝えしたかったんです。

野田頭:回答期限はいつですか？

小黒:え～

野田頭:いつって言われてます？

小黒:特に～・・・はないんですけども～、正直、早ければ早いほどいいっちゃいいです。でもまだ、あと～契約の途中ではあるので～、ですかね～。はい。・・・ちよつとご検討いただけたら～。

野田頭:わかりました。

小黒:はいっ、まあ、なので、私の方ではまだ動かず。っていう形で

野田頭:まあ、行動起こされるのは、自由ですけども。一応私としての意見はそうです。

小黒:まあ、動くなと、言われてるのでそりゃ動かないです。

野田頭:だから、だからこういう話っていうのが、やり取りで見て、ん？ってこの間その～所長さん含めてやったやり取りで見て～、で～うちとしても初めてです～つって、ほんとに初めてかどうか確認をしたかった、っていうのもありますよ。ほんとに。だあ、UMHさん側から、その～雇用契約書の内容を確認して～いや、初めてって言ってサインしたけどつっていつて～、どこまで把握してんだ～？こんな～プロフェッショナルな業務なんて聞いてねえぞ～、と思って。

小黒:うん

野田頭:で、データ分析と実際、やってみれば～引き継ぎで～っていうあれでみたらもう、こういうレベルの業務をいきなりやって～、え～単価。まあ、でもサインしちゃったし～、な～と。と思って、で～、いつ～何？2ヶ月って事は～すげえシビアなジャッジしてんのかな～っていう。

小黒:あ～成る程。そこは多分、もうそこまでないかと

野田頭:だから業務に携わる上で～、プロフェッショナルとしてのあれで見てんのか～、ほんとにずぶのっていう～のかが～、見えないんですよ～なんにも。

小黒:ああ

野田頭:だからエンジニアで～、募集かけてんのに～、ああ、一般人きちゃった～、でもまあ、育てる～？っていう。いやっ、うちもうエンジニアで募集かけてるから、プロしかいないんだよね～。っていうのか。

33プロスタッフ小黒の面談記録

小黒:うう～ん。

野田頭:それがなんにも見えない。だあ、今日来て知らなかった。ああ、そうなんだ。

小黒:そもそもまあ、エンジニアでお話頂いてなかったんで。

野田頭:まあ、要はその

小黒:UMHさんに

野田頭:まあ、あんまりいいたかないですけど。昔のあれで、付帯業務って言って、エンジニアの業務までやったことも～有るので～、

小黒:うん

野田頭:まあ、流石に切れましたけれども。事務って言ってプログラミング書かせといて事務ってなにー？つってって。

小黒:うん

野田頭:ああっ、このパターンかな～と思って。

小黒:うん

55:00

小黒:う～ん

野田頭:経験上、だから業務どこまで把握されてますかっ、っていう。

小黒:う～ん

野田頭:っていうのを、ああ、まあ、来ちゃったんならしょうがない、聞いてみようかって。

小黒:うん

野田頭:書面でしか書いてないんですけど、相對してるのはあなた方なので～、温度差どうなんですかねえ。いろんなっていう。

小黒:うん

野田頭:だからこういうふういきいてって、あ～あ～、だからお願いだから何もしないで下さい。言うんだったら私はやめます。という。そういう結論になってしまうわけですよ。

小黒さん:わかりました。まあ、そのあたりは、あの～・・・動かざること・・・

野田頭:言ってもいいですけど～。別に～。

34プロスタッフ小黒の面談記録

小黒: まあ、その～なんですか、うちの考え・・・、円滑に進めるためっつーかー続けれるために何か出来ることあるかなっていうの聞いたかっただけなんでー。

野田頭: だあ、私の方も普通に～。

小黒: まあ、それで動くな、動かないほうが良いって言われたのであれば、動かないっただけなんです。

野田頭: 単純作業じゃ

小黒: 続けれるか続けれないかを判断して頂いて。って言う感じです。だいじょぶですかね。

野田頭: はい。

小黒: …… 今日かなり時間……。ちょっと20分暗いって言ってたので～。

野田頭: あ～

小黒: なので～

野田頭: 相対している中で～っていう。

小黒: ……

野田頭: そういう話はしないんですか？っていうのはありましたけどね。やり取りしてて。

小黒: わかりました～。ちょっとそのあたりは反省点として。はい。

野田頭: 全然これ単純作業じゃないですよ。・・・現場の中で目まぐるしく動いて、プロとしてやっていて、ただまあ、いい人、たまたまという、ラッキーを狙っているのか、まあ、色々ありますけど。・・・。どうなん、どれなん見てるんだろうなあって・・・。

小黒: あ～

野田頭: 現場に入られてるって言うから、・・・と思ってましたもん。普通に

小黒さん: うん

野田頭: 初めてだから知らない。ってまあ、・・・正直、知らないって言われたら、ああ、そうなんですな。

小黒さん: お時間ありがとうございました。

野田頭: はい。